

新富町 生活支援体制整備事業

隣接する大きな市や町に依存し、他力本願的な町民性で自町での発展が進まない町でしたが、住民の勉強会（ワークショップ）を地道にすることで主体的な広がりが少しずつ出てきている。



新富町 生活支援体制整備事業



- H26.3 「新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム」に参加
さわやか福祉財団・NPO法人みんなのくらしターミナルとの出会い
- H26.10 住民ワークショップ「みんなで考える会」の発足 勉強会スタート
- H28.4 「みんなで考える会」で発掘した生活支援コーディネーター配置
- H28.11 キラリ輝くまちづくりフォーラムinしんとみ 開催
堀田会長 新富町にて「たすけあい」を熱弁！
- H28.12 「みんなで考える会」常連による
任意団体「みんなの幸せねっとからふる」発足
- H29.1 からふる・NPO法人みんなのくらしターミナル・弁護士会共同運営
「新富ふれあいの居場所」開所



- H29.8 「新富ふれあいの居場所」から必要な支援の声があがり
「有償ボランティアたすけあい蓮」発足



- H29.8 新富町とNPO法人みんなのくらしターミナル 包括連携協定締結

- H30.3 新田地区での住民ワークショップ開催



- H31.4 生活支援コーディネーターがNPO法人立ち上げ
町の生活支援体制整備事業をNPO法人へ委託

- H31.4 宮崎で活動しているNPO法人が複数で創った
「みんなのくらし支え合い協議会」と新富町が
協働パートナー協定の締結



- H31.5 新田地区 住民主体による居場所「はれる家」開所

